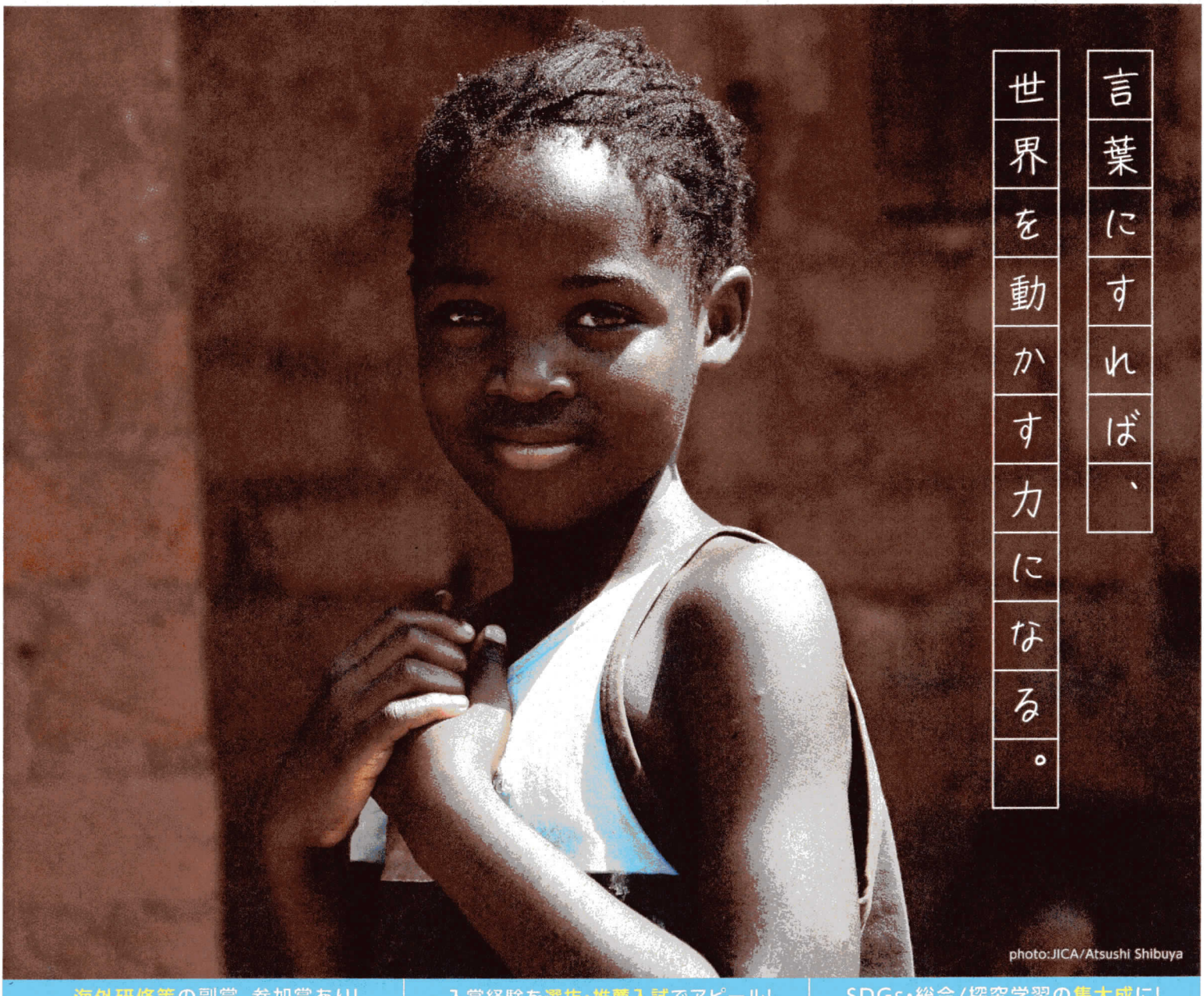
9/17 〆切

JICA国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト2025



海外研修等の副賞、参加賞あり!　入賞経験を選抜・推薦入試でアピール!　SDGs・総合/探究学習の集大成に!

テーマ

世界の幸せのために私たちができること
～未来へつなげるために～

募集期間 6/6(金)▶9/17(水)　郵送必着 ウェブ応募17時締切

<最優秀賞・優秀賞>
約1週間の海外研修

<審査員特別賞・国際協力特別賞 他>
フェアトレード商品等

応募された方全員へ参加賞を差し上げます。

主催：
独立行政法人国際協力機構（JICA）

後援：外務省、文部科学省、世界銀行東京事務所、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国際教育研究協議会、日本私立中学高等学校連合会、認定特定非営利活動法人開発教育協会、NHK、各都道府県教育委員会及び政令指定都市教育委員会、各都道府県青年海外協力隊OB会

協賛：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社
株式会社スクールパートナーズ

協力：株式会社日刊県民福井、上毛新聞社
※後援、協賛、協力各団体・企業は一部予定を含みます。

応募要項

テーマ **世界の幸せのために私たちができること ～未来へつなげるために～**

募集期間 6/6(金) ▶ 9/17(水)　**※郵送必着**　**※ウェブ応募 17 時締切**

応募規定

＜中高共通＞
- 作品は自分の考えや体験等をエッセイとして応募者本人が自ら書いたものであり、盗作や不適切な引用等をしておらず、他のコンクール事業等で発表していないものとします。なお、生成 AI による生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出することは禁止します。他の類似コンクール等に応募した作品は既発表とみなします。
- **作品に①題名②学校名（個人応募の非公開希望者は除く）③氏名④学年⑤Word作品は文末に作品字数を必ず記入すること。（①～⑤はエッセイ本文の字数には含みません）**
- **白紙 Word 打ち込み後、文字化けの防止のため、PDF データでの応募を推奨。フォントは MS 明朝、フォントサイズは 12 ポイント以上で作成してください。ファイル名は半角英数字にしてください。原稿用紙手書きの場合は 2B以上の鉛筆等で濃く書いてください。**
- 応募用紙に不備（記入漏れ、未提出）がある場合や、作品の文字数が著しく少ない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください。
- 作品は日本語に限る。　・１人１作品まで応募可。

【注意事項】
- 盗作等が疑われる作品は、エッセイコンテスト運営事務局において選考から除外する可能性があります。
- 盗作等による著作権侵害の争いが生じても、JICA は責任を負いません。
- 運営事務局は、文字化けが起きた作品に一切の責任を負いません。
- 受賞後、募集要項の規定に反すると判断された場合には、受賞を取り下げる可能性があります。

※JICA 地球ひろば HP内「よくある質問」ページに、応募規定や応募方法について詳細を掲載しています。あわせてご確認ください。

＜中学生の部＞
- 応募時点で中学生またはそれに相当する学校に籍を置いていること。
- 文字数：本文1200字以内（手書きの場合400字詰原稿用紙3枚目安）

＜高校生の部＞
- 応募時点で高校生またはそれに相当する学校に籍を置いていること。
- 文字数：本文1600字以内（手書きの場合400字詰原稿用紙4枚目安）

応募方法

※郵送応募とウェブ応募の併用不可
※応募方法はウェブ応募を推奨

＜ウェブ応募＞

作品と、学校応募は応募者名簿をご用意の上ご応募下さい。

※ウェブ応募は 17 時締切です。締切前は接続しにくくなる可能性があります。時間に余裕をもってご応募下さい。

＜郵送応募＞

個人応募　個人応募書類①応募用紙、個人応募書類②アンケート

学校応募　学校応募書類①応募用紙、学校応募書類②アンケート、③応募者名簿（自由形式）

応募先

＜ウェブ応募先＞**こちらのウェブページからご応募頂けます。→ PC の方は JICA エッセイコンテストでご検索下さい。**

＜郵送応募先＞ 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-24-1 遠山ビル3F
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2025事務局」

審査員長

中学生の部
尾木直樹氏
教育評論家／法政大学名誉教授
東京都立図書館名誉館長

高校生の部
星野知子氏
俳優／エッセイスト

賞

最優秀賞 …… 3名
- 独立行政法人国際協力機構理事長賞 1名
- 外務大臣賞 1名
- 文部科学大臣賞 1名

優秀賞 …… 3名

審査員特別賞 …… 4名

国際協力特別賞 …… 10名

国内機関長賞

佳作、青年海外協力隊OB会会長賞

学校賞
60作品以上の応募、または全校生徒の3割以上の応募があった学校。

特別学校賞
学校賞を長年に渡り連続して受賞し、多数の応募をしてきた学校。

〈海外研修〉 最優秀賞・優秀賞の海外研修は2026年8月上旬実施予定です。

【評価のポイント】

世界や途上国、SDGs の課題に対する理解、解決のための提案・行動を重視し、総合的に評価します。

入賞発表

2025年12月下旬頃にJICA 地球ひろばHPにて発表します。

表彰式

国際協力特別賞以上の受賞者は、2026年2月中旬に東京のJICA施設にて表彰式を予定しています。

感謝のてがみ
-エッセイコンテスト、64年のありがとう-

エッセイコンテストを通じて生まれた出会いと感謝の手紙が集まりました。

問い合わせ先

公益社団法人 青年海外協力協会内　JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト全国運営事務局
TEL：0265-98-0445(直通)
メールアドレス：jica.essay-oubo@joca.or.jp

JICAエッセイコンテスト　検索
https://www.jica.go.jp/cooperation/experience/essay/collect/index.html

詳細は JICA 地球ひろば HP をご覧ください

著作権について　著作権は募集者であるJICAに帰属するものとし、応募作品は返却いたしません。入賞者の学校名、氏名、作品名は、作品集、ホームページ等に掲載いたします。

個人情報の取り扱いについて　応募いただいた個人情報は、当機構にて厳重に管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。ただし、当機構との間で機密保持契約を締結した第三者に対し、このエッセイコンテストに関する業務を委託する場合を除きます。その使途としては、当コンテストの受賞通知、賞品発送及びJICAが行う開発教育支援事業の案内のみといたします。

・応募時のご提出は不要です。　・コピーしてお使いいただけます。

エッセイの書き方ワークシート

「エッセイ」とは、自分が体験したこと、見たり聞いたりしたことをもとに、感じたことや考えたことを自由に、思いのままに書いた文章です。

JICA（ジャイカ）のエッセイコンテストは、次の世代を担う皆さんに、エッセイを書くことを通じて国際協力などへの関心を高めてもらうために実施しています。ただし、エッセイを書くにあたっては海外留学などの特別な経験は必要ありません。学校や家庭、地域での身近な出来事を題材にしたエッセイもこれまで多く入賞してきました。

まず、このワークシートを使って、自分の関心のあることや伝えたいことを整理してから、エッセイを書き始めてみましょう。

JICAエッセイコンテスト
過去受賞作品

1 自分のテーマ・課題を探す

これまで授業やニュースなどで見たり聞いたり、身近なところで感じたり体験した世界や開発途上国の課題（SDGs 含む）を書き出してみよう。

＼ POINT ／

- 大きなテーマでなくてもOK!
- 地域に住む外国人や留学生とのかかわり、また、新聞やテレビでみたニュース、食べ物や環境など日常から広く世界を考えてみよう。
- 学校で学んだSDGsや世界の課題についても思い出してみよう。

▶ 最も興味のあることは何だろう？その理由や、それについての自分の気持ちや考えたことを書いてみよう

最も興味関心のあること（テーマ・課題）：

2 詳しく調べてみよう

選んだテーマ・課題について、本やインターネット等で深掘りしてみよう。

＼ POINT ／

- 世界の他の国々や地域ではそれらの問題にどう対応しているのか、その国や地域についても調べて視野を広げてみよう。
- テーマに対し多角的に見てみよう。
- 自分に出来る事があるか、調べたり考えたりしてみよう。

3 提案・行動

選んだテーマや課題に対して、どんなことができるだろうか、行動に移してみよう。

＼ POINT ／

- 自分にとっては小さな行動でもOK！
- 自分の気持ちや考えを率直に書き出してみよう。

4 まとめ（ふりかえり・これから）

調べてみて、やってみて、分かったことや感じたこと、気付いたことを書いてまとめてみよう。
1から3をふりかえり、これから自分にできる取り組みや行動を考えてみよう。

＼ POINT ／

- 行動や調べることを通して、新しく感じたこと、疑問に思ったことは何かな。
- 家族や友人とも話してみよう。
- 他に自分に出来る事は何だろう。他にどんな方法が考えられるかな。

5 自分の体験や想いを言葉にして、エッセイを書いてみよう

エッセイを書く際のポイント

- エッセイを通して何を伝えたいかを明確にしよう
- 過去の体験や経験を交えて書いてみよう
- 固定概念にとらわれず、思ったことを素直に書いてみよう
- 書き終えた後に読み返して、読み手に伝えたいことを伝えられているかチェックしよう

書く時の注意

- 話し言葉と書き言葉を区別しよう
  例）でも→しかし　やっぱり→やはり
- ら抜き言葉に気を付けよう
  例）食べれる→食べられる
  寝れる→寝られる